

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録・臨床写真や通常の診療で行った検査で得られた組織標本を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている組織標本を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	掌蹠膿疱症と異汗性湿疹における臨床像および病理組織像の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 皮膚科 (職名) 特任講師 (氏名) 八束和樹
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日
対象となる方	2010 年 1 月から 2024 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち掌蹠膿疱症、異汗性湿疹と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、皮膚所見、臨床写真(手足のみ) 等 (利用する試料) 通常の診療で行った皮膚生検により得られた組織標本
研究の概要 (目的・方法)	掌蹠膿疱症は手掌・足底に繰り返す膿疱を特徴とする難治性皮膚疾患であり、しばしば水疱の形成を認めるため、異汗性湿疹と症状が非常に似ています。しかし、両者は有効な治療法が異なるため、正確な診断が求められます。ところが、両者の診断基準は明確に定まっているとは言えず、鑑別に苦慮する場面にしばしば遭遇します。本研究では、掌蹠膿疱症と異汗性湿疹の臨床像および病理組織像、炎症に関与する物質を詳細に比較検討し、両疾患の鑑別点・相違点を明らかにすることを目的とします。当院を受診し、皮膚生検を含む諸検査から皮膚科専門医により掌蹠膿疱症あるいは異汗性湿疹と診断された患者さんの臨床写真、病理組織標本を詳細に検討し、両疾患の特徴について比較検討を行います。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研

	究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院皮膚科 八束和樹 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5350

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの情報は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を共同研究先にも提供します。多くの情報を多方面から解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学大学院医学系研究科皮膚科学 特任講師 八束和樹
共同研究機関	名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科 非常勤講師 村上正基
共同研究機関	宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野 客員教授 村上正基